

衛生史編纂資料(昭和十一年月分)

昭和二十一年二月十日
旧第六十八師團軍醫部

一 部隊行動の概要

前月ニ引續キ別紙第一配宿要圖、如ク四ヶ所ニ集中シテ茅葺ヲ刈リテ壁トスル等創意工夫ニヨリ各隊冬營設備ヲ整ヘアリ

二 衛生機関業務の概要

師團八目下兵員保育ニ重點ヲ指向シ患者發生防止並ニ給養ノ向上ニ努ムル共ニ特ニ身體虛弱者ノ保健ヲ強化シ出發準備ヲ完成シツアリ
之ガ爲軍醫部ニ於テハ各隊ヲ屢々巡視シ現地指導ヲ實施シテリ

尚師團野戰病院主力ハ依然トシテ來雁塔地區ニ開設シ患者收療及後送ニ任ジ一部ハ大堡地區ニ患者療養所ヲ開設シ輕症者收療ニ任ジアリ
三 一般衛生及自活對策

(一) 被服の状況

冬衣袴ハ概ネ全員ニ支給スルヲ得タモ冬外套ハ全員ノ一〇%、毛布ハ二〇%程

度補給ニシテ藁ヲ蚊張ニテ包ミ茅葺ヲ敷ク等自給自活ヨリ保温努メリ
(二)給養ノ狀況

主食補給不内滑ナルト多ク平均日給與量精米四〇リ乃至五五〇瓦ナリ副食
ハ副食費中ヨリ復員業務ノ事務用消耗品燈火油等ノ購入及搬送行
軍間ハ準備貯金等ノ爲平均日購買量法幣七〇円程度ニシテ且旧正月
前後ノ物價暴騰ヨリ給與ハ著シク低下シ一日平均給與量ニ一〇〇—二五〇
カロリーナリ

然レ共調理講習會實施、ヨモギセリ等野菜類採集野菜栽培
養豚等ニヨリ之ガ向上ニ銳意努力ナリ

(三)中隊長以下燃料蒐集(中國極東戒兵附添下近傍山野、雜草ヲ伐採
シテ)米受領等ニ出ル他各地區毎ニ資質向上ノ爲、各種講演指導、
演藝會及野球、排球等ヲ實施シ益々致團結ニ努メリ

四、防疫狀況

當地區ニ未ダ痘瘡流腦、回歸熱等ノ發生ヲ見ガレモ虱、蚤等ノ驅除ニ努

スリ

五、患者状況

(一) 二月月間、患者發生狀況左如ク依然トシテ「マリア」首位ヲ占ムイテ呼吸器病(感冒)胃腸病ナリ、當地區ハ補給點ノ末端ニ位置シ補給品總テ後方ニ於テ接收サレシ爲衛生病材補給殆トク、特ニ「マリア」治療ハ頗ル困難ニアリテ爾後長期滞在モ考慮シ原蟲保有者ハ勿論熱發患者ト雖モ症狀消退セズ投藥ヲ中ニスルノ止ムナキ爲「マリア」患者ハ全治セシムル得ザル狀況ナリ皮膚病患者ニ對シテ現地ニ於テ硫黃ヲ購入シ各隊ニ於テ嚴重監視下ニ入浴ヲ勵行セ結果各隊共著シク減少セリ。

病名	發生數	前月ト比較	病名	發生數	前月ト比較
傳染病	〇	(一)	榮養器病	五五	(+)
マウリア	六四九	(一)	眼耳鼻病	四	〇
脚氣	三五	(一)	外被病	三八	(一)
結核	〇	〇	花柳病	〇	(一)

陸軍

呼吸器病	一六五	(一)六八	外傷不慮	一二	(一)一六
全身病	四	(一)四	病名未定	六〇	(一)三四
胃腸病	六〇	(一)五	其ノ他	一三五	(一)八
合計	一二一七	(一)一五二	備考	練兵休以上ノ新患者トス	

(二)入院患者ノ状況

月間入院患者合計一九〇名(中韓籍兵六〇名)テ内地歸還ノ爲メ
命及電報等ニヨリ急據之ヲ後送シモ現在長期滞在ヲ願慮シ現
地治療ニ重點ヲ指向シアリ

大患者轉送後送ノ状況

撈刀舖第一八四兵站病院ニ後送シ患者數在ノ如シ

- 一月一日 自動貨車四車輛ニヨリ 六五名
- 一月九日 汽車ニヨリ 三五名
- 一月十日 〃 二九名

昭和十三年七月大檢査

一月十四日

四一名

計

一七〇名

陸軍

七 衛生材料、状況

月間衛生材料、補給ハ皆無ニシテ(十二日分モナシ)兵團保有材料、益々僅少トナリ、特ニマラツテ劑ノ不足甚ダシク、診療實施上多大ノ支障ヲ來スリ、且轉進延期セラレタルヲ以テ各部隊ニ於テ、現在保有シタル材料一ケ月ノナル狀況ニ鑑ミ、銳意消費節約ヲ圖リ、重點的ニ使用スルト共ニ現地自造(棟ノ採集利用、硫化カルケウ液ニヨル疥癬治療、綯帶材料、再製衣、支那酒ヲ酒精蒸餾、豚脂ヲ軟膏、蒸餾水製氷等)ヲ併用シ、極力、喰延シテ實施スリ

八 接收ニ関スル涉外事項

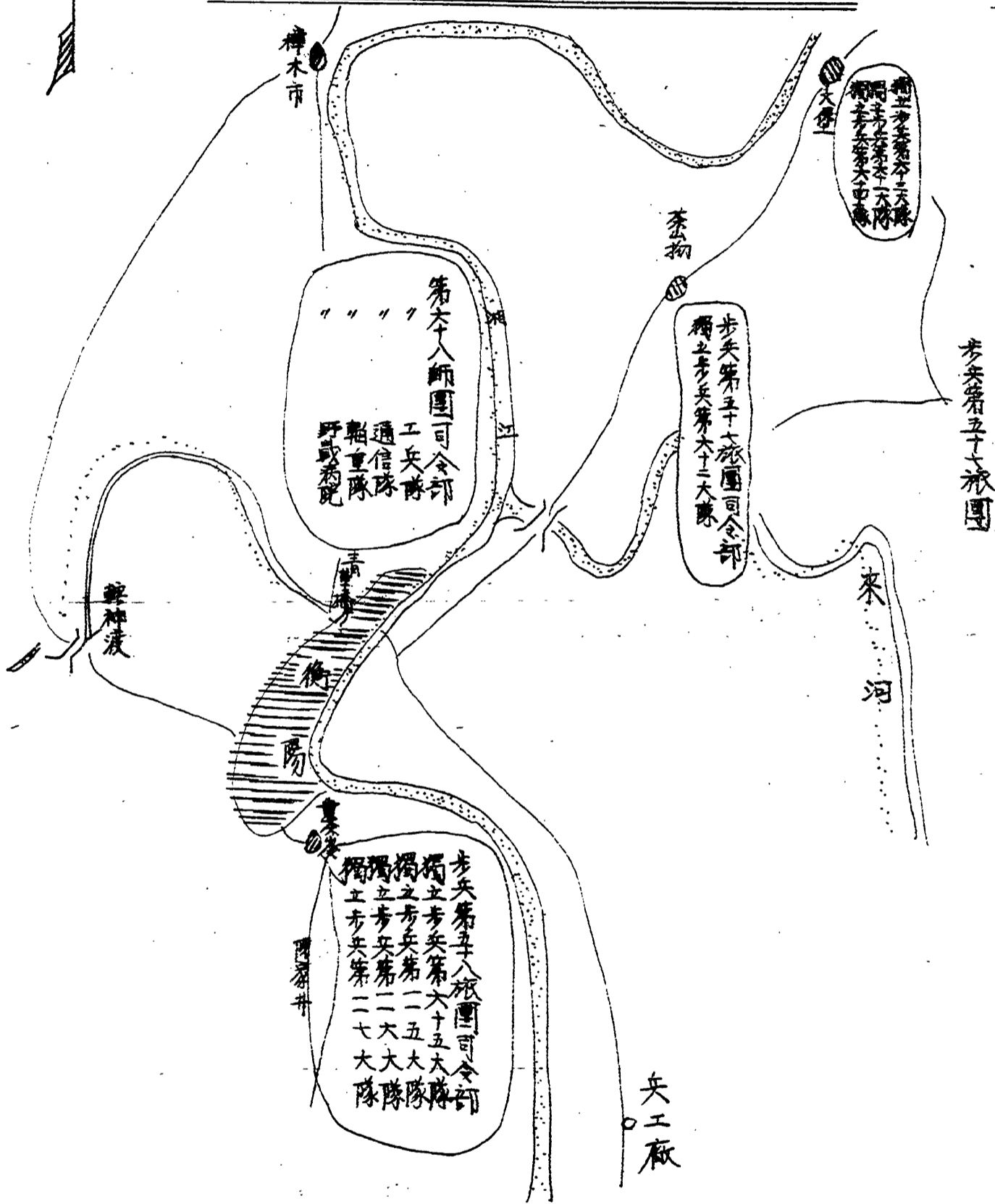
本月間接收サレシ物ナシ

九 其他必要事項

現在當師團ニ弱兵頗ル多ク、終戰前後ニ反轉ヲ豫期シ、約一〇〇名ヲ岳

州地區ニ先發セシメ該地區ニ練成隊ヲ編成滯留セシメアルモ尚現在約五
百名ノ弱兵存シ、中三百名如何ニシテモ輸送機關ニヨリ輸送ヲ行軍ヲ
不能ハサル者ニテ關係中國側機關ニ種々折衝シ之ガ輸送ノ円滑ヲ圖
ル他各隊毎ニ保健隊ヲ設置シ体操、訓練、増賄、實施等ニヨリ体力氣
力ノ恢復充實ニ努メテ
虚弱者ノ保健強化對策^{原兵}邊原因別區分別紙第二如シ
エ、當師團ノ衛生材料ハ約一ヶ月ヲ保有シ之現況ナルヲ以テ二月ヨリ優先的
ニ補給スル如ク配慮ア度、特ニリア劑消耗品等ハ緊急ニ考慮
セシ度

第六十八師團配宿要圖



別紙第Ⅱ

自一月十四日
至一月二十日

養價算定表

(第百十六師團兵務課係)

品目	数量(斤)	蛋	脂	肪	含水炭素	カロリー
白米	四〇〇	三〇・八	三・二	一・二	三〇七・二	一四一五・六
付米	六〇〇	八・四	一・二	一・二	一七二・八	七五四・二
大根	一五〇	一・一	一・一	一・一	五・六	二七・三
油	四二	九・二	七・九	一・二	〇・二	一一一・八
大豆	一八	六・二	三・二	三・二	五・〇	七六・二
大根葉	四二	一・七	〇・二	〇・二	〇・五	八・三
豚肉	一六	二・三	六・〇	六・〇	一・一	六四・八
干鰯	三	〇・六	非	非	一・一	二・八
食油	二	一・一	二・〇	二・〇	一・一	一八・六
粉味噌	七	〇・九	〇・三	〇・三	一・三	一一・一
餅	一六	二・八	〇・二	〇・二	一・一	一六・四
唐辛子	〇・五	一・一	一・一	一・一	一・一	一・一
計		六四・〇	二四・二	四九・八	二五・八	二二
備考	平均一日給與人員七七名					

別紙第三

旧六八師復衛第三號

身体虚弱者衛生保健強化對策關件通牒

昭和二十一年一月二十四日

旧第六十八師團參謀長

隷下各部隊長殿

首題件別紙要領ニ據リ短期間ニ成果ヲ期ス如ク努メラレ度依命通牒ス

配布先 隷下各部隊、各部、二十軍各一部

陸軍

1232

虛弱者保健強化實施要領

第一保健強化重點

各隊虛弱者現況ヲ調査セシ病後衰弱者四六% 生來虛弱者三四%
 神經痛其他ニセ% 戰傷後機能障礙五%ヲ示シテ病後衰弱者ガ虛
 弱者中ノ首位ヲ占メアルヲ以テ保健強化ノ重點ヲ病後衰弱者ノ速カナル恢
 復ニ指向シ左記事項ノ徹底ヲ期スルモノトス

一 中隊長ノ適切ナル指導

二 原因的疾患ノ完全ナル治療

三 個人ニ對スル醫學的適實ナル指導

四 給養ノ適實ナル合理化

第二實施事項

一 中隊長ノ適切ナル指導

中隊長ハ虛弱者各人ノ身體ノ狀況ヲ熟知シ醫官ト協力シテ合理的ニ
 指導著眼事項概テ次ノ如シ

ハ 集合指導

狀況許志一々所ニ集合セシメ適任充幹部ヲ以テ指導スルヲ要ス

ニ 身体検査

屢々細密ニ身体検査ヲ實施シ恢復ノ状態茲ニ爾後ノ指導方法ヲ指示ス

三 異常ヶ所ノ早期診断

中隊長朝夕點呼時各ノ顔貌ヲ觀察又食餌・睡眠・状態・大便ノ性状等細密ニ觀察異常ヶ所ノ早期發見ニ努カム

四 諸勤務ノ輕減又ハ免除

虚弱者一般ニ勤務ヲ輕減又ハ免除スルヲ可トスルモ種類ニヨリテハ勤務ニ就カシムルヲ以テ恢復ヲ速カナラシムルモアリ

五 休養時間ノ附與

日課時限ヲ嚴守セシメ睡眠ヲ十分ニ與ヘ如ク細心ノ注意ヲ拂ヒ被服寢具モ優先的ニ貸與シ入浴洗濯時間ヲモ附與ス

（昭和十三年七月六日發給）

二原因の疾患ノ完全治療

病後衰弱者ヲ以テ脚氣胃腸病 榮養失調症後等ノ恢復期

ニアル者多數ヲ占ムアルヲ以テマリアニ對シテ完全治療ヲ行ヒ脚氣胃腸

病榮養失調者ニ對シテハビタミソ劑消化劑ヲ投與スト共ニ食餌療

法ニヨリ恢復ヲ速カナラシメ余病ヲ併發セシメサルモトス

三個人ニ對スル醫學的適實ナル指導

醫官ハ虛弱者ニ對シ身体検査ヲ嚴密ニ行ヒ醫學的ニ分類シ各個人

ニ付注意實施スベキ事項ヲ懇切ニ指導シ虛弱者自ラ積極的ニ保健

法ヲ實行スル如クスルモノトス指導事項ヲ列記セ

ハ病後衰弱者

イ胃腸弱キ者

榮養衰ヘアルヲ以テ榮養價ニ富メル食品(卵、動物内臓等)ヲ給養

シ主食モ消化シ易キ白米ヲ用ヒ副食モ軟菜トスルヲ可トス

尚之等ハビタミソ欠乏ヲ來シ易キヲ以テ大根オロシ蜜柑類ヲ加給シ

咀嚼ヲ十分ニ行ハシメ適度ノ運動ヲ實施セシム但シ勤務勞役ハ
免除スルモトス

ロ、呼吸器弱キ者

胸部疾患ニ罹リ易キヲ以テ保健体操含嗽皮膚摩擦懸垂
等ヲ實施スルト共ニ戶外ニ於ケル生活ヲ奨勵ス勤務ハ夜間勤務ヲ
免除シ寢室ニ賊風侵入ヲ防止ス

ハ、心臓弱キ者

脚氣腎臓病後ノ衰弱者等ニテ強度ノ運動ハ禁止シ漸進的
ニ觀察シツ軽度ノ運動(保健体操、定期的歩行運動)特ニ緩
針面)ヲ實施シ過勞ヲ陷ラシメザルモトス勤務勞役ハ免除ス

ニ、神経系病弱者

屋外ニ於テ輕勤務ニ就カシメ適度ノ疲勞ヲ與ヘ安眠セシムヲ可
トス時ニ鎮痛催眠劑ヲ與スモトス
又入浴ヲ勵行セシメ衛兵夜間勤務ヲ免除ス

その他

戰傷後機能障得外科的疾患皮膚病等ニテ原因ヲ醫學的ニ分類シ原因除去ニ最モ有力ニ方法ヲ重點的ニ指向シテ速

カニ恢復ヲ圖ルモノトス

四、給養ノ適實ヲ合理化

給養ノ適否ハ直接虛弱者ノ恢復ニ甚大ナル影響ヲ有スルヲ以テ部隊幹部ハ之ニ関心ヲ持テ特設衛官經理官一休トナリテ給養ノ向上ニ努ムベキナリ
虛弱者中榮養衰ハズ者ニ對シテ部隊ノ狀況ニ應ジ増賄ヲ實施シ
榮養價ニ富ミ入手容易ナル食品ヲ加給スル外獻立種類ノ変化ノ調理方法ヲ研究シ又食餌分配ノ監督咀嚼時間附與等萬般ニ直リ指導ヲ強化スルモノトス

尙部隊裁格ノ野菜類ハ長期利用可能ナル如ク白菜等ハ葉ミ利用
施肥スト力乾燥野菜ノ製造トカ各種ノ工夫ヲ必要トス

細部ハ近ク給養ニ對ス指示ヲ答ニ付ソトニ據ルモノトス

第三、結言

要スニ虚弱者保健強化ニ目下ノ急務カニシテ之カ成果ハニニ中隊長ノ
適切ナル指導ヲ醫官精勵部隊長ノ入念ナル監督指導ヲシテ

第六師復衛第五號

虛弱者保健強化實施要領補遺件 通牒

昭和二十一年一月二十八日

第六師團軍醫部長

隸下各部隊衛生部主任將校殿

虛弱者保健強化實施要領補遺次ノ如シ

一、虛弱者ノ原因別調査

役種別、病類別、原因區分ヲ調査スルニ別表ノ如シ

二、疥癬患者ノ根治

① 現役初年兵補充兵、二國等下級者ニ多シ依ツテ之ガ治療ハ硫黃入浴

並ニ塗布ヨルモ入浴不徹底ニ流レ勝テルヲ以テ嚴ニ監視シ治療徹底期

スルヲ要ス、尚下衣ハ毎回煮沸消毒ヲ必要トス

② 急シ得バ一括隔離スルヲ可トス

③ 硫黃湯入浴法ハ左ニ據ルモノトス

④ 中隊毎ニ分散入浴セシムルハ貴重ナル硫黃劑ノ分散及入浴回数ノ減少

陸軍

ヲ來シ治療ノ徹底ヲ致サズ不可ナリ

四、醫務室於テ統轄實施シ或中隊ヲ選定スルモ可(軍醫必ズ亦癩患
者全員ヲ集合セシメ入浴實行ヲ監督スルヲ要ス

ハ硫黃 八〇瓦

古飯盒等ニテ煮沸シ多量硫化石灰トナシ之ヲドラム

石灰 一テロ

鐵一杯湯ニ入レ成可ク熱クシテ入浴セシム

水 二四〇リ

四、ドラム罐ハ鉄製ナルヲ多量硫黃ト化合シテ硫化鉄トナリ効力ヲ著シク減弱

スルヲ以テ努テ「カメ風呂」又ハ木製風呂ニテ實施スルヲ可トス又釜ノ蒸氣方等

モ燃料節約ヲ考慮シ施設ヲ完備スル要アリ

四、硫黃ハ當部ヨリ各隊概ネ二五リ宛交付スルヲ以テ受領者ヲ差出サ

レ度(文ニヨリ約三〇回實施シ得レモトス)

三、痔核、痔瘻、脱肛及神經痛ノ根治

一、現役古年兵及補充兵ニ絶對多數ヲ占ム年齡的関係アルモ行軍忌憚

ナシトス即チ持テ精神力強化ニ努メ氣力増進ヲ圖ルヲ要ス

四、重症者ハ入院セシムルヲ可トス

(前谷 豊・家 東)

(7) 頻回ノ若肛門部及腰部ノ保温(木筒湯多ク腰巻等)ヲ考案實施セム
(4) 神經痛ノ如キハマッサージ温灸等ノ實施ニ努ム
四、ハルニフ

1) 要手術患者ハ入院セシメ師團野戰病院ニ於テ手術根柢セシム

2) 但シ現在野戰病院收容能力ナキタメ現在收容患者後送後速カニ入院セシム(運布商部ヨリ連絡ス)

五、虱蚤ノ徹底的驅除

現在各部隊共兵室ニハ多數發生シツアリ一度回歸熱發生セバ爆發的流行ヲ見ルハ火ヲ觀ルヨリ明ラカニシテ加フルニ治療ノザルハルサシ劑皆無アリ最近長沙地區ニ回歸熱發生シ傳播路所ニ於テモ發生セリ、

六、感冒豫防

感冒ニ因ル受診患者漸次増加シツアリ換氣採暖方法ヲ再檢討スト
共ニ積極的皮膚鍛練ニ努ムルヲ要ス特ニ流行性感冒兆アラハ機ヲ失ヒズ報告スルト共ニ初發患者ノ早期發見ト隔離ニ遺憾ナキヲ要ス

七、虚弱者並ニ入院患者ノ増賄

部隊ニ於テハ之ガ實施方法ヲ慎重ニ考慮シ實効ヲ收ムルト共ニ監督
ヲ適切ニ獨流ト防止ニ努ムルモノトス

八、今後毎旬弱兵数(甲、乙ニ分ケ前旬ト増減ヲ附記ス)ヲ當部
宛報告セラレ度

(沼谷 貞・京東)

1242

(計各表・表)

弱兵(甲乙共)役種別病類別原因区分表 昭21.1.25編 旧 680 軍醫部

病類別	現役初缺	現役二年	其他現役	補充兵役	豫備役	第國民隊	計	百分率
子ノス		1			1		2	
赤痢	4		1	1			6	
筋軟(急變)	7	3	4	10	2	2	28	6.2
マラリア	49	9	22	48	16	28	172	36.1
脚氣	8		6	7	1	1	23	5.1
性病			2	1	2		5	
神経痛	3		4	17	4	5	33	7.3
中耳炎			1	1	1		3	
心臓病	1				1		2	
氣管支炎		1	1	1			3	
胃病			2	1	2		5	
腸炎	4	1	3	11	2	3	24	5.3
ヘルニア	1		1	1	2		5	
痔、脱肛	4		17	6	5	4	36	8.0
疥癬	15	4	4	9	2	6	40	8.9
其他皮膚病	2			3			5	
関節捻挫	1	1	4	3	1	1	11	
外傷(戰傷)	5		16	4	3	2	30	6.7
神經衰弱症				2	1		3	
其他(虚衰)	6			5		2	13	
計	110	20	88	131	46	54	449	
百分率	24.5	4.4	19.5	29.1	10.2	12.0		
	48.4%							
参考(總兵隊)	45.0%			31%	18%	6%		
備考	本表ハ六十一大隊未到着ノ爲掲上ニ非ス							